

# 平成 28 年度事業報告書

社会福祉法人湘南の風

## 目 次

はじめに・基本理念	1
経営の原則・法人の方針	2
法人主要課題	3
利用実績	4
部門別	
法人本部総務課／経理課	5～11
もやい	12～14
mai!えるしい	15～16
えいむ	17～18
葉山はばたき	19～20
支援センター風	21～25
ジャストサイズ	26～28
委員会	29～30

はじめに

平成 28 年度を終えて

法人運営の柱に、①福祉サービスの質の向上、②経営の透明性、③経営基盤の強化と財政の健全化の三本を掲げた四年目が終わりました。

国の社会福祉法人の適正化を目的とした法改正への対応に追われながらも、法人及び各事業の運営においては堅調に推移した一年でありました。

とりわけ、課題であった「中期事業計画」の策定をみたことは、湘南の風の「明日の姿」を明確に示せたものと考えます。

事業別には、法人の重要テーマとして取り組んできたグループホームの整備に関し、新年度にジャストサイズ堀内第 1、第 2、新池子の 3 ホームが相次いで開設に到ったこと、そして、平成 29 年度中の建設、翌年度当初の開設を目指した（仮称）ジャストサイズ小坪の用地取得がなり、グループホームの当面の最終形の実現に目処が立ちました。

もやい、えいむ及び葉山はばたきの生活介護事業においては、新規利用のニーズにほぼ応えられたものと考えます。

しかし、就労継続事業である mai!えるしいにおいては赤字を計上し、作業項目を含めた事業運営の在り方に課題を残しました。

また、サービス提供を行うべき施設の整備はなされたものの、質の良いサービス提供の担い手となる人材の確保については予定した成果を得られずに終わりました。

新年度においては、これら表出した課題の解決に具体策をもって取り組むことを申し添え、ここに、平成 28 年度の事業並びに決算の報告を行います。

平成 28 年 5 月

理事長 一 柳 康 男

社会福祉法人湘南の風  
基本理念

1. 利用者が尊厳を持って、自立できる地域社会の実現を目指します。
2. 基本的人権を守り、個人の尊厳を重視した支援を行います。
3. 地域とともに歩み、地域から信頼される法人を目指します。
4. 常に法令を遵守し、良質な福祉サービスを提供します。
5. 法人の経営基盤を強化し、経営の透明性を確保します。

## **経営の原則**

当法人は、平成 28 年度事業を執行するに際し、法人定款第 3 条に規定する法人経営の原則を遵守します。

### **【定款】**

(経営の原則)

第 3 条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

## **法人の方針**

### 1. 福祉サービスの質の向上

- ①利用者の快適で安定した地域生活を支援するため、グループホームの整備を推進します。
- ②個別支援計画の充実とサービス提供管理体制を構築します。
- ③障害者権利条約を守り、権利ある主体である個人の尊厳を重視した支援を行います。
- ④良質なサービス提供により利用者・家族・関係機関・地域社会との信頼関係を築きます。
- ⑤第三者委員によるサービスレベルの客観的な評価を受け、サービスの向上に努めます。
- ⑥人材育成と職員のモチベーションの向上のため、研修の充実を図ります。

### 2. 経営の透明性

- ①法令遵守と権利擁護の推進により、地域社会の信頼を得るべく努めます。
- ②第三者評価を積極的に受審し、法人経営の客観的な評価を受けます。
- ③事業運営の適正化を図るため、内部監査の充実を図ります。
- ④ホームページや広報誌等により、事業内容や財務諸表等の法人情報を公開します。

### 3. 経営基盤の強化と財政の健全化

- ①中長期事業計画を策定し、効率的な事業遂行と予算執行を行います。
- ②法人の意思決定を行う中枢機関として本部機能を強化します。
- ③防災・減災体制を整備し、危機管理体制を強化します。
- ④各事業所における会計管理、予算執行管理を推進します。
- ⑤請求業務のチェック体制を強化し、正確で効率的な請求を行います。
- ⑥人材確保のため、年間を通じた職員採用計画を再構築します。

## **法人主要課題**

### 1. (仮称) ジャストサイズ堀内整備事業

#### ①事業概要

グループホーム利用の需要に応ずるため、また既存のジャストサイズ一色の移転先として、(仮称) ジャストサイズ堀内を新たに整備するもの。

#### ②平成 28 年度 of 取組み

平成 28 年 5 月に建設業者との契約を締結し、同年 6 月に工事を着工、平成 29 年 3 月に竣工しました。名称をジャストサイズ堀内第 1 (男性棟) 及び第 2 (女性棟) とし平成 29 年 4 月にジャストサイズ堀内第 2 が、同年 5 月に第 1 が稼働しました。入居者の内訳としては従来からの定住利用者 8 名及び新規利用者 2 名となります。

また短期入所用の居室 2 部屋を併設しています。

#### ③事業費

予算額 9,485 万 6,900 円

決算額 9,287 万 6,008 円

### 2. 支援センター風移転計画

#### ①事業概要

既存施設の有効活用を図るため支援センター風を mai!えるしいの建物内に移転するもの。

#### ②平成 28 年度 of 取組み

平成 28 年度内に検討していた mai!えるしいへの移転事業は、改修仕様の作成および見積もり依頼に留まり、事業実施は平成 29 年度に行うこととなりました。

支援センター風の機能は mai!えるしい建物内 2 階に整備する予定です。2 事業所で水光熱、電話やインターネット等のインフラを共有することでランニングコストの軽減も見込めることとなります。

### 3. もやい大規模修繕事業 (施工調査)

#### ①事業概要

築 20 年を超えたもやいの建物について、大規模な修繕を前提に外装、内装及び設備等の点検調査を行うもの。

#### ②平成 28 年度 of 取組み

施行調査を実施し、施設の外装・内装、屋上設備、水回り、照明等について現状を把握しました。調査結果に基づき優先順位を設定し、平成 29 年度に『トイレ改修工事及び照明器具更新工事』、『外壁塗装工事』、『屋上改修工事』及び『玄関ホール内部改修工事』の 4 事業を実施します。

利用実績

	定員	契約者数	年間稼働日数	延利用者数	稼働率	事業計画比較	
						延利用者数	達成率
もやい	40名	48名	249日	9,889名	99%	9,800名	101%
もやいデイサービス	20名	36名	251日	3,327名	66%	3,450名	96%
日中一時支援	5名	24名	249日	1,605名	128%	1,700名	94%
mai!えるしい	20名	21名	249日	4,239名	85%	4,619名	92%
えいむ	40名	43名	249日	8,500名	85%	9,011名	94%
葉山はばたき	20名	26名	249日	5,099名	102%	5,245名	97%
支援センター風 (地域活動支援センター)	10名	23名	249日	854名	34%	1,225名	68%
支援センター風 (特定相談)		280名	252日			269名	104%
支援センター風 (障害児相談)		80名	252日			69名	115%
支援センター風 (介護保険)		40名	252日			39名	103%
グループホーム ジャストサイズ	31名	31名	365日	9,745名	86%	9,800名	99%
ジャストサイズ桜山／一色	2名	23名	365日	490名	67%	420名	117%

## 法人本部／総務課

### 1. 計 画

『基本理念等』、『計画期間』、『五年後の姿』、『基本計画』及び『実施計画』の5項目で構成し、平成29年度から平成33年度までの五箇年を計画期間とした中期事業計画を策定しました。

### 2. 連絡調整

法人運営に資するため法人内外の連絡、情報の収集・分析・発信及び理事会・評議員会、経営会議等諸会議の運営、第三者委員の事務局機能を担いました。

理事・監事、評議員の任期満了に伴う手続を行うとともに社会福祉法等の一部を改正する法律（平成28年法律第21号）の施行を受け、評議員選任・解任委員会の運営を行いました。

#### <理事会開催実績>

##### 第1回理事会

開催日	平成28年5月20日（金）	出席者	理事6名	監事2名
議案第1号	評議員の選任同意について			（可決）
議案第2号	平成27年度事業報告について			（可決）
議案第3号	平成27年度決算について			（可決）
議案第4号	定款の変更について			（可決）
議案第5号	基本財産の担保提供について			（可決）
議案第6号	平成28年度第1回補正予算について			（可決）
議案第7号	財産の取得について			（可決）
議案第8号	（仮称）ジャストサイズ堀内建設工事契約について			（可決）
議案第9号	法人組織管理規程の一部改正について			（可決）
議案第10号	「もやい」生活介護事業運営規程の一部改正について			（可決）

##### 第2回理事会

開催日	平成28年9月27日（火）	出席者	理事6名	監事2名
議案第1号	平成28年度第2回補正予算について			（可決）
議案第2号	社会福祉法人湘南の風中期事業計画の制定について			（可決）

##### 第3回理事会

開催日	平成28年12月13日（火）	出席者	理事6名	監事1名
議案第1号	定款の変更について			（可決）
議案第2号	株主の権利の行使について			（可決）
議案第3号	評議員選任・解任委員会施行細則の制定について			（可決）
議案第4号	評議員選任・解任委員会委員の選任決議について			（可決）
議案第5号	評議員選任・解任委員会の招集について			（可決）
議案第6号	新評議員の推薦及び推薦理由について			（可決）
議案第7号	理事長の互選について	（全会一致により一柳理事に決定）		
議案第8号	理事長職務代理者の指名について	（一柳理事長より小林理事を指名）		

#### 第4回理事会

開催日	平成 29 年 3 月 23 日 (木)	出席者	理事 6 名	監事 2 名
議案第 1 号	平成 28 年度第 3 回補正予算について			(可決)
議案第 2 号	平成 29 年度事業計画について			(可決)
議案第 3 号	平成 29 年度予算について			(可決)
議案第 4 号	(仮称) ジャストサイズ小坪建設工事に係る金銭の借入について			(可決)
議案第 5 号	基本財産の担保提供について			(可決)
議案第 6 号	競争入札に係る指名業者の選定基準について			(可決)
議案第 7 号	平成 29 年度給食業務委託契約について			(可決)
議案第 8 号	定款施行細則の制定について			(可決)
議案第 9 号	経理規程等の一部を改正する規程について			(可決)
議案第 10 号	運営規程の整備に関する規程について			(可決)
議案第 11 号	施設長の任免について			(可決)

#### <評議員会開催実績>

##### 第1回評議員会

開催日	平成 28 年 5 月 20 日 (金)	出席者	評議員 11 名	監事 2 名
議案第 1 号	平成 27 年度事業報告について			(同意)
議案第 2 号	平成 27 年度決算について			(同意)
議案第 3 号	定款の変更について			(同意)
議案第 4 号	基本財産の担保提供について			(同意)
議案第 5 号	平成 28 年度第 1 回補正予算について			(同意)
議案第 6 号	財産の取得について			(同意)
議案第 7 号	(仮称) ジャストサイズ堀内建設工事契約について			(同意)
議案第 8 号	法人組織管理規程の一部改正について			(同意)
議案第 9 号	「もやい」生活介護事業運営規程の一部改正について			(同意)

##### 第2回評議員会

開催日	平成 28 年 9 月 27 日 (火)	出席者	評議員 13 名	監事 2 名
議案第 1 号	平成 28 年度第 2 回補正予算について			(同意)
議案第 2 号	社会福祉法人湘南の風中期事業計画の制定について			(同意)

##### 第3回評議員会

開催日	平成 28 年 12 月 13 日 (火)	出席者	評議員 12 名	監事 1 名
議案第 1 号	定款の変更について			(同意)
議案第 2 号	株主の権利の行使について			(同意)
議案第 3 号	理事の選任について			(同意)
議案第 4 号	監事の選任について			(同意)



#### 第4回評議員会

開催日	平成 29 年 3 月 23 日 (木)	出席者	評議員 13 名 監事 2 名
議案第 1 号	理事の選任について		(同意)
議案第 2 号	平成 28 年度第 3 回補正予算について		(同意)
議案第 3 号	平成 29 年度事業計画について		(同意)
議案第 4 号	平成 29 年度予算について		(同意)
議案第 5 号	(仮称) ジャストサイズ小坪建設工事に係る金銭の借入について		(同意)
議案第 6 号	基本財産の担保提供について		(同意)
議案第 7 号	競争入札に係る指名業者の選定基準について		(同意)
議案第 8 号	平成 29 年度給食業務委託契約について		(同意)
議案第 9 号	定款施行細則の制定について		(同意)
議案第 10 号	経理規程等の一部を改正する規程について		(同意)
議案第 11 号	運営規程の整備に関する規程について		(同意)
議案第 12 号	施設長の任免について		(同意)

#### <評議員選任・解任委員会開催実績>

開催日	平成 29 年 2 月 16 日 (木)	出席者	委員 3 名
議案第 1 号	評議員の選任について		(可決)

#### <第三者委員施設訪問実績>

訪問先	日程	合計
もやい	6/20、8/4、8/25 (家族会)、12/6、3/7	5 回
もやいデイサービス	6/20、8/4、12/6、3/7	4 回
日中一時支援	8/4	1 回
mai!えるしい	7/5、7/19 (かあむ)、10/19、1/24	4 回
えいむ	6/21、7/29 (家族会)、11/15、3/14	4 回
葉山はばたき	7/28 (家族会)、8/19、1/11	3 回
支援センター凧	5/26、10/5、2/14	3 回
ジャストサイズ	7/19、11/8	2 回

### 3. 人事

#### ①採用

平成 29 年度採用者は 4 名。新卒者確保の採用活動として採用活動支援サービスの利用を開始、また中途採用者の採用に関しては転職用サイト、求人誌、求人広告への掲載を行いました。

②研修

法人内研修

研修名	実施日	講師又は依頼先	内容	対象者
新人研修	4/1, 4/4	法人職員（管理者）	法人の理解、障がいの理解等について	新入職員
接遇研修	10/6	(株)川原経営総合センター	福祉における接遇について	新入職員
介護技術研修	10/27	神奈川県介護福祉士会	介護技術の基礎について	新入職員
安全運転講習会	7/28	逗子警察署	安全運転について	運転免許所持者
階層別研修①	8/26、10/21 12/14、2/10	法人職員（管理者）	各事業所の事例検討	二年目以上職員
階層別研修②	9/27、10/25 11/29、1/31、2/14	東京学芸大学 菅野氏	知的障がい者支援に関して専門的な理論等を習得し事業所における職員指導や事業運営を学ぶことを目的とする。	主査・サビ管
宿泊研修	12/4、5	理事長	法令の必要性と法令遵守について	主査・サビ管
虐待防止研修	2/16、17	和泉短期大学 鈴木氏	障害者差別解消法について	全職員
嚥下研修	10/17、11/2、7	横須賀共済病院 野口氏	摂食・嚥下に関する基礎学習	全職員
コンプライアンス研修	12/1	かながわ福祉サービス 振興会 瀬戸理事長	コンプライアンス経営 - 社会に貢献できる組織づくりを -	常勤職員
中間事業報告会	9/24	主査等	社会福祉法改正、利用者支援ハンドブック、中期事業計画	常勤職員
事業報告会	3/26	各委員会委員・他	平成 28 年度委員会報告・自主県外視察研修報告	常勤職員

派遣研修

研修名	実施日	主催	内容	対象者
キャリアパス 対応生涯研修課程 (初任者編)	4/1 4/4	神奈川県 社会福祉協議会	福祉従事者として礎となる社会福祉の基本理念、職業倫理を学び、これまでの業務からの気づきを振り返りながら自身の将来像を描き、そこに到達するために何が必要かを考える契機とする。	新入職員
キャリアパス 対応生涯研修課程 (中堅職員編)	8/25 9/1	神奈川県 社会福祉協議会	利用者理解や後輩指導、職場においての問題解決等、中堅職員が職場で期待される役割について理解を深めるとともにキャリアアップとして職務遂行に必要な知識及び技術を習得し、資質向上、職場定着を図り将来の道筋を描くことを目的とする。	中堅職員
ファシリテーター 基礎研修	10/28	神奈川県 社会福祉協議会	ケア会議における方針や職員会議等における合意形成に向かうために用いる、会議進行役の態度や言葉遣いなどの基本スキルを身に付けることを目的とする。	中堅職員
コーチング研修	10/27 11/29	神奈川県 社会福祉協議会	指導的職員の大きな役割である後輩職員への育成指導に関して、後輩職員が自ら考え、行動できるルカを育てるためにやる気を引き出す技術の一つであるコーチングの基本について学びスキル向上を目指すことを目的とする。	中堅職員
職場研修担当者研修	8/3～5 2/12～14	全国社会福祉協議会	職場研修の運営実務に関する知識及び技術の習得を図ることを目的とする。	主査 サビ管
全国社会福祉法人 経営者大会	9/14、15	全国社会福祉協議会 全国社会福祉法人経営者協議会	大会テーマ 「制度改革を好機として、存在意義を発信する」	管理者
全国経営協「経営塾」	8/22、23 11/17、18	全国社会福祉協議会 全国社会福祉法人経営者協議会	社会福祉法人が福祉サービスの主たる担い手として、これまでに培ってきた福祉サービスの実践を活かし、質の高いサービスを提供し続けるため、経営者の資質向上を目的とする。	管理者
法改正セミナー	7/27、12/1	全国社会福祉協議会	社会福祉法等の一部を改正する法律（案）について	管理職

6

視察研修

研修名	実施日	視察先	目的	対象者
自主県外視察研修①	1/12、13	『社会福祉法人愛徳福祉会・大阪発達総合療育センター』『社会福祉法人水仙福祉会』	自主的に県外視察（以下「県外視察」という。）を行うことにより、障がい者支援の先進例を学習し、また職員自身の自立性の向上に資することを目的とする。	常勤職員
自主県外視察研修②	12/8、9	『社会福祉法人パステル』『社会福祉法人こころみる会』『社会福祉法人足利むつみ会』		

### ③調査

常勤職員について年度当初に自己申告書を作成、職員個々の目標設定等を行い、下半期に目標の振り返り及び異動等の意向調査を実施しました。非常勤職員については新年度に向けた契約更新の意向確認も含め、年末から年始にかけて意向調査を実施しました。

### ④給与

職員の給与、賞与等の支払い事務においてデータ入力者と確認者のチェック体制を整えました。

## 4. 法令遵守

社会福祉法等の一部を改正する法律（平成 28 年法律第 21 号）の施行に伴い、定款の変更、評議員選任・解任委員会の設置、新評議員の選任、諸規程の整備（前述の理事会、評議員会実績参照）等を行いました。

（仮称）ジャストサイズ堀内整備事業の入札について諸法令や経理規程に基づき実施しました。

内部監査については、前年に引き続き請求事務の相互チェックを行いました。次年度は確認の対象を法人・事業所の意思決定の記録である稟議書・決裁書も対象とした確認作業に取り組めます。

## 5. 広報

法人パンフレットの更新について着手出来ませんでした。平成 29 年度の更新に向けスケジュールの立案等、計画性を持って実施します。

経営の透明性を確保するための情報開示については、法人ホームページでの定款、財務諸表の公開をはじめ、全国社会福祉法人経営者協議会等の関連団体の専用サイトなどを活用し情報開示に努めました。

法人広報誌については年 4 回発行しました。

## 6. 防災

防災マニュアルの見直しについては着手出来ませんでした。防災備品については後援会の協力を得て新規購入・補充・更新を行いました。緊急連絡網については年度当初に情報を更新し、有事を想定した緊急連絡テストを実施しました。

## 法人本部／経理課

### 1. 収 入

社会福祉サービス事業の収入は稼働率の増加及び前年度 10 月よりジャストサイズ新水科の開所もあり堅調に推移しました。

### 2. 運営管理

毎月行われる経営会議にて各施設の稼働率・資金収支の推移を確認し、問題点の早期発見及び問題解決の話し合いを随時行いました。

保守点検委託及び共通物品購入等の一元化について、福祉車輛以外の所有車輛については基本的にはリース契約とすることとし、コスト削減・業務の効率化を図りました。また、事務用品購入先の一元化にかかる準備を進め、平成 29 年度より開始することとしました。これにより、法人で使用する用紙等の統一とコスト削減を図ります。

### 3. 委託業務

計画通り執行しました。

### 4. 施設整備

ジャストサイズ堀内建設費用（9,287 万円）とジャストサイズ小坪建設用地取得費用（8,290 万円）の捻出の為、施設整備等積立金資産を 11,750 万円取り崩し、また、市内金融機関から 5,000 万円の借入を行いました。

mai!えるしいの外壁が老朽化により一部落下したことから外壁全体の緊急安全対策工事（300 万円）を行いました。併せてに 2 階屋根雨漏り修繕工事（80 万円）も行いました。

もやい（生活介護／日中一時支援）

1. 支援事業

(1) もやい

- ①男女人数 男性 27 名 女性 21 名
- ②年齢構成 19 歳～56 歳（平均年齢 38.1 歳）
- ③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	2	12	8	11	14	47

④障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	23	重複障がい（知的、身体）	22
身体障がい	1	重複障がい（身体、精神）	1
		合計	47

⑤入退所の状況

新規利用者 2 名（内 1 名退所）

⑥支援の内容

主査等をスーパーバイザーとし、支援員が応用行動分析等の手法を学ぶ取組みを行いました。実際の支援場面においては、事例検討等を中心に今後具体的な運用を行う予定です。

月に 1 日程度理学療法士を配置し、機能訓練が必要な方への訓練メニュー等について助言指導を受けました。機能訓練が必要な利用者へは安定した頻度で機能訓練の活動を提供できました。

(2) もやいデイサービス

- ①男女人数 男性 20 名 女性 16 名
- ②年齢構成 41 歳～89 歳（平均年齢 68.9 歳）
- ③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	6	10	11	4	5	36

④障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	3	重複障がい（知的、精神）	2
身体障がい	28	重複障がい（身体、精神）	2
精神障がい	1	合計	36

⑤入退所の状況

新規利用者 1 名（内 0 名退所）

⑥支援の内容

活動プログラムについて創作活動の種類を増やす取組みを行いました。数名の利用者が利用日数を増やす等希望に沿った活動提供ができつつあります。今後、より自立した生活を支援するため、活動種の増加や見直しが必要です。

年間の平均利用者数は 13.6 名で、概ね目標としていた利用率を達成できました。

(3) 日中一時支援

①男女人数 男性 15 名 女性 9 名

②年齢構成 6 歳 ～18 歳 (平均年齢 13 歳)

③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	2	8	9	3	1	1	24

④障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	20	重複障がい (知的、身体)	4
		合計	24

⑤入退所の状況

新規利用者 2 名

退所者 4 名

⑥支援の内容

活動場所について、安全対策としてクッションフロアの設置を行いました。ケガ等の事故はありませんでした。送迎体制の見直しを行い、保護者の希望する送迎の対応が可能となりました。

支援員の体制について、もやいデイサービス職員と兼務の体制をとり、柔軟な職員配置を行いました。学校等の長期休暇（夏季、冬季）時にも概ね保護者の希望通りの受入を行うことができました。

2. 施設管理事業

利用者の健康管理を目的としてもやいデイサービス（1階）及びもやい（2階）に空気清浄器と加湿器を設置しました。

3. 施設整備事業

不具合のあるドアの修理、エアコンの点検を行いました。建築後 20 年を経過した建物であるため、建物全体の設備等について専門業者による調査を実施しました。トイレ等の水回り、館内照明、外壁、屋上について修繕の必要があります。平成 29 年度の施設整備事業において改修工事を施工する予定です。

4. 研修事業

実施日	内 容	参加者
7/20	第 1 回事務研修会	斗舛
9/5	相談支援研修「視点を変えてⅢ」	斗舛
9/28、10/4、26	相談支援従事者現任研修	佐々木
9/29	感染症予防研修	佐々木
11/14	強度行動障害対策事業公開講座	石川
11/19、11/20	社会福祉士実習指導者講習会	佐々木
12/26	第 34 回神奈川県障害者福祉実践報告会	龍村、石黒
1/28	平成 28 年度新人行動力強化研修	石黒

2/5	不適応行動の課題と整理～氷山モデルシートの活用とアセスメント～	大木
3/3	強度行動障害対策研修基礎養成研修	半田

5. 防災事業

- ①訓練 地震津波訓練を2回、火災訓練（通報、消火、避難）を2回実施しました。
- ②備品 使用期限切れの食品、水の入れ替えを実施しました。

6. 総括

各事業の支援の課題として、職員の理論に基づいた支援の実践、利用者の自立を目的とした支援領域の設定とそれに基づく活動の見直しが挙げられます。次年度において職員の事業所内研修と併せ取組みを行います。



mai!えるしい（就労継続支援B型）

1. 支援事業

- ①男女人数 男性 14 名 女性 7 名
- ②年齢構成 21 歳～54 歳（平均年齢 39 歳）
- ③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	3	0	6	9	2	1	0	21

④障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	17	重複障がい（知的、精神）	2
重複障がい（知的、身体）	2	合計	21

⑤入退所の状況

- 新規利用者 1 名
- 退所者 2 名

⑥支援の内容

製菓品の抜本的な見直しを図るため、(株) 3・SUN・TRESURE (サ・サ・トレジャー) とコンサルティング契約を締結し、レシピや包材、デザイン、材料仕入れ先の見直し、販促品の製作、在庫管理、品質管理、衛生指導等を実施しました。

喫茶かあむの在り方に関する検討については、平成 30 年度以降の法改正の動向が発出されておらず、検討には至りませんでした。

2. 施設管理事業

神奈川県介護福祉士会に依頼し第三者評価を受審しました。給食提供の在り方については、平成 30 年度以降食事提供加算の廃止が見込まれていることから、今後法人の中期事業計画の中で検討していく予定です。

3. 施設整備事業

施設の有効活用を検討し、平成 29 年 7 月（予定）より支援センター風を移転させることとしました。

4. 研修事業

実施日	内 容	参加者
5/28	工賃向上セミナー	中山
7/11	魅力的な商品開発で工賃 UP！	八重樫
9/13～14、10/18	相談支援従事者現任研修	八重樫
2/14	平均工賃 2 万円を実現する事業所見学会	八重樫
2/20	平成 28 年度食品衛生責任者講習会	大房・中山
3/28	～共生社会創造のための商品品評会第 1 回「食品」	大房

5. 防災事業

- ①訓練 火災避難訓練を 2 回実施し、今年度は該当する津波避難訓練がなかったため、事業所単独で 1 回実施しました。
- ②備品 整備の要無し

## 6. 工賃支払状況

単位：円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
金額	164,560	178,280	172,320	140,920	138,200	142,640	140,480
人数	23	23	23	22	22	22	22
平均	7,155	7,751	7,492	6,405	6,282	6,484	6,385
	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	合計
金額	143,520	125,840	130,320	139,560	152,760	147,450	1,769,400
人数	21	21	21	21	21	22	
平均	6,834	5,992	6,206	6,646	7,274	6,753	

## 7. 総括

平成28年度当初予算では稼働率92%で計上していましたが、利用者2名の退所、体調不良による欠勤や入院等もあり前年度と同様の稼働率85%と大幅な減となりました。

支援センター風と連携し年度途中での利用者確保を目指しましたが、確保には至っておらず、次年度は特別支援学校との連携も強化し、利用者2名程度の確保を図ります。

## えいむ（生活介護）

### 1. 支援事業

- ①男女人数 男性 40 名 女性 3 名  
 ②年齢構成 19 歳～46 歳（平均年齢 33 歳）  
 ③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	0	7	19	10	7	43

### ④障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	41	重複障がい（知的、精神）	1
重複障がい（知的、身体）	1	合計	43

### ⑤入退所の状況

- 新規利用者 2 名  
 退所者 1 名

### ⑥支援の内容

日々の活動は銅線解体、資源回収及び箱折、内職作業、苗木栽培等の下請作業等の作業を提供し、小集団での活動と共に個々の支援目標に沿った課題への支援を進めてきました。また PECS を用いたコミュニケーション支援を中心に行い、本人の能力に応じた個別課題への支援を行いました。作業・コミュニケーションいずれの支援に際しても適宜アセスメントを行いながら、個々のレベルに応じた課題に取り組みました。また、1 階ホールを利用し、フライングディスクや軽体操等運動の課題も行ないました。

### 2. 施設管理事業

- ①業者清掃を実施し、特に食堂は剥離作業を加えました。  
 ②グリストラップ除去及び排水管の高圧洗浄を実施しました。  
 ③施設周囲の植木剪定及び雑草の除去作業を実施しました。

### 3. 施設整備事業

- ①利用者増に伴い、送迎車輛を 1 台増車しました。  
 ②3 階水場配管及び内壁の修繕、蛇口の交換及び 1 階トイレに排水溝を設置しました。

### 4. 研修事業

実施日	内 容	参加者
4/21	新任福祉施設等職員合同研修（県社会福祉協議会）	竹内
5/17	介護技術研修（介護福祉士会）	辰仁
5/21. 22	PECS I ワークショップ	橘
6/8. 10	「自閉症の障害特性」（三浦しらとり園公開講座）	竹内
7/30~8/3	やまびこ療育セミナー	石井
8/24. 25	防火管理者講習（鎌倉）	橘
9/2	「応用行動分析学入門」（ひばりが丘学園公開講座）	辰仁
10/31	「応用行動分析学入門」（三浦しらとり園公開講座）	竹内
12/11	日本発達障害支援システム学会研究大会（大正大）	石井・橘・山崎・藤代 辰仁・黒川・友野・竹下
2/3	こうさいセミナー（弘済学園）	辰仁

## 5. 防災事業

①訓練 消防計画に基づき年2回実施しました。

②備品 屋上に備蓄倉庫を設置し、防災備品等の集約、入替を順次行いました。

## 6. 総括

稼働率は85%に向上し支援費の増収につながっています。年度当初に、送迎車を1台増車し利用者増に対応しました。下請作業について継続して提供することで、作業に関わることが出来る利用者が増えてきました。今後とも、作業科目の精査とともに教材等を活用した学習面または健康面に関する支援の充実を図ります。

## 葉山はばたき（生活介護）

### 1. 支援事業

- ①男女人数 男性 10 名 女性 16 名  
 ②年齢構成 19 歳～73 歳（平均年齢 41.6 歳）  
 ③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	2	4	9	7	4	26

### ④障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	13	重複障がい（知的、精神）	2
重複障がい（知的、身体）	11	合計	26

### ⑤入退所の状況

新規利用者 2 名

### ⑥支援の内容

利用者の高齢化、重度化に応じて活動グループを検討し再編しました。また障がい特性に応じて各利用者の活動環境も整備しました。利用者の方の意向も尊重するため利用者の方のヒアリングを行いました。

従来の作業活動中心の活動提供の在り方を「活動整理プログラムシート」を活用し検証し、利用者の方個々の活動提供に対して目的を整理しました。

地域との交流(社会資源の活用)を目的としたグループ別の外食イベントを実施しました。

### 2. 施設管理事業

「葉山町立の障害者支援施設葉山はばたきの管理に関する協定書」に基づき葉山町と協議を行い経年劣化による管理備品の入替え及び修繕(1階女子トイレ排水管)を行いました。

### 3. 施設整備事業

- ①トラックを導入し作業(資源回収)の効率化を図りました。  
 ②2階作業室内のシンクを入替え、利便性が向上しました。

### 4. 研修事業

実施日	内 容	参加者
6/20、12/16	普通救命講習 I	秋山・齋藤
6/21	衛生推進者養成講習	萩原
6/23～24	全国知的障害関係施設長等会議	萩原
6/29	社会福祉施設講習会	萩原
7/4	苦情解決研修会	安達
7/5～6	神奈川県サービス管理責任者補足研修	岡本
7/20	事務研修会	萩原
7/28	サービス等利用計画と個別支援計画	安達
7/29	社会福祉法等の一部を改正する法律のポイント	萩原
8/3～4	読み書き・算数障害の指導	原田
8/11	親と子の愛着形成の問題と対応	古賀

8/22	みんなのソーシャルスキル指導	秋山
8/25	本当はあまり知られていないダウン症のはなし	橘
9/2	強度行動障害対策研修実践力養成研修	安達
9/9	逗子市基幹型相談支援センター研修	安達
9/14	知的障害児・者のてんかん	古賀
9/23	社会福祉事業におけるこれからの人材確保について	萩原
10/18	認知症になった知的障害者より学ぶ知的障害者の高齢化像	岡本
10/23	衝動的な行動への理解と対応	松島
11/6	認知の働きをふまえた指導の実際	安達
11/8	より良い支援へのヒント	秋山
11/8	ストレスマネジメント～上司としての対応(ラインケア)を中心に～	萩原
11/11	アンガーマネジメント研修	安達
11/19～20	社会福祉士実習指導者講習会	安達
11/22	エルダー(集団指導)研修	松島
11/24	アセスメントから始める自閉症支援	岡本
12/6、13	知的障害の方の身体機能低下への対応について	原田
12/8	支援スタッフ部会地区会(施設見学)	古賀
12/26	第34回神奈川県障害福祉施設職員実践報告会(実践報告)	安達・岡本
1/12	社会福祉法人・施設職員災害対応研修会	萩原
1/16	当事者研究から見る障害者の権利擁護	萩原
2/9	福祉・介護人材定着セミナー	萩原
2/17	社会福祉法の一部改正について	安達

※派遣研修以外に常勤、非常勤を交えた事業所内研修(計11回)を実施し、福祉専門職としてのスキル向上に努めました。

## 5. 防災事業

- ①訓練 火災を想定した総合訓練(消火・通報・避難)を計3回実施しました。  
津波を想定した避難訓練を計5回実施しました。

- ②備品 災害用非常食の入替えを行いました。

## 6. 総括

支援事業では個別支援計画プロセスに基づき利用者個々の重点支援領域の再設定等、支援環境の検証、改善を行い支援の枠組みを整理することができました。作業活動においては平成27年度課題であった新規作業の開拓について新たに下請け作業を受注することで若年層の方の作業活動の拡大に繋がりました。今後も利用者個々に応じた支援実践、活動提供を整備します。またサービス管理責任者を中心に支援計画のスケジュールを整備し、支援に係る事務業務を視覚化することで各職員が計画的に業務に従事することに繋がりました。

研修事業では、利用者の年齢層・障がい種別が多岐に亘るため必要な研修会に常勤・非常勤・職種を問わず計37回の派遣をしました。派遣研修以外では「第34回神奈川県障害福祉施設職員実践報告会」において実践報告を行い、他法人・事業所職員から客観的な意見を聞き日々の実践を振り返る機会になりました。次年度以降も継続して研修体制を整備しながら職員個々の専門性の向上に努めます。

支援センター風：逗子市委託相談支援及び葉山町委託相談支援事業（逗子市・葉山町委託）

1. 事業

①相談件数

逗子市：8,006件（実人数 243人）

葉山町：3,002件（実人数 127人）

両地域合わせて相談員員数10名 常勤換算6.0人

相談員1人当たりの月の平均相談件数 150件

②活動の状況

訪問、同行、電話相談、個別支援会議、関係機関とのサービス調整、サービス等利用計画に係る事務を行いました。

2. 総括

相談実人数は微増、相談件数は高止まりしている。一人あたりの相談件数が下がっています。知的障害、身体障害、障害児の相談に関しては逗子市内に相談を行う事業所が僅かながら増えており、新規相談受付は微増ではありますが依然、市内において当事業所が占める割合は高い状況です。

虐待に係る相談も数件あることから、今後さらに行政機関との緊密な連携を行います。

支援センター風：指定計画相談支援及び指定障害児相談支援事業（逗子市指定）

1. 事業

①計画作成件数

逗子市民：398件 葉山町民：145件

②活動の状況

利用者1名につき、アセスメント、サービス等利用計画案の作成、個別支援会議の開催、サービス等利用計画作成、モニタリング作成がサイクルで行われており、これらに付随して面接、訪問、連絡調整、申請等援助を実施しました。

2. 総括

逗子市民に対する計画作成は、相談実人数が微増であるにも関わらず計画作成件数が1.5倍に増加していることから、支給決定の変更やサービス等利用計画の変更が頻繁に行われています。

相談支援ソフトの導入は業務の平準化、個人情報の管理、効率化に寄与しています。

担当件数の均一化に取組み、改善されました。支給決定の管理に関しても請求業務の一環に取り入れたことで改善の方向です。しかし、全体の相談件数が高止まりしている事から当事業所規模における相談支援の量的提供は限界値にあることから、担当件数の均一化の継続・非常勤相談員の雇用による増員を行い、本課題について逗子市自立支援会議定例会へ提案を行います。

支援センター風：基幹相談支援センター事業（逗子市委託）

1. 事業

①事例検討会

年間6回のグループスーパービジョンの手法を取り入れた事例検討会を開催しました。

本年度はかながわ障害者ケアマネジメント従事者ネットワークより講師を招き行いました。

## ②研修会

権利擁護・虐待の防止に関する研修を2回。地域移行定着に関する研修を1回。相談支援に関する研修を1回開催しました。

## 2. 総括

重点課題であった相談支援事業の連携強化に6回のシリーズ化した事例検討会は有効でした。これまで、研修開催に重きが置かれていたこの事業ですが、来年度は逗子市自立支援会議との連絡を深め、逗子市の課題に即した研修や取組みを構築していきます。

### 支援センター風：逗子市自立支援会議運営事業（逗子市委託）

#### 1. 事業

全体会議	運営会議	専門会議（防災）	専門会議（就労支援）	定例会議
7/12、2/21	6/17、1/20	8/2、10/31、1/24	6/24、2/13	毎月第3水曜日

各会議に係る議事等の検討、資料作成、会議開催に関する調整と周知、議事録の作成を行いました。

#### 2. 総括

重点課題であった各会議の在り方の整理に取り組みました。議案となっている課題に関し、市町での取組み、圏域単位への意見、情報の提供を決めることが出来ました。

障がい者に対する防災対策は逗子市避難行動要援護者避難支援計画懇話会で検討が継続されることから、専門会議である防災部会は終了します。新年度は権利擁護に関する部会を設置します。

### 支援センター風：横須賀・三浦障害保健福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業（神奈川県委託）

#### 1. 事業

本年度より神奈川県から受託しました。横須賀・三浦障害保健福祉圏域（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）における相談支援等のネットワークを形成し、圏域自立支援協議会を開催、障害者の地域生活支援の促進を図る事業です。

圏域自立支援協議会	運営会議	相談支援ネットワーク会議	圏域事例検討会
7/26、2/14	6/21、11/21/26	9/12、10/26/12/12	9/13、10/17、1/30、3/8

相談支援ネットワーク会議では移動支援の地域間の違いの縮小のための議論を行いました。移動支援サービス提供事業者の実態調査アンケート、考察、意見書のまとめが来年度に持ち越されています。事例検討会では圏域内共通のテーマを4つ抽出し、事例の検討及びアドバイザーによる意見を伺いました。

#### 2. 総括

担当職員は兼務3名で行いました。平成27年度からの継続課題や検討できなかった課題を引き継ぎました。本年度より受託した事業ではありますが、これまで圏域の相談支援の取組みへの関わりをもとにネットワークの構築に努めることが出来ました。平成29年度への持ち越しの課題への取組みと共に新たな課題の抽出と検討の場を構築してまいります。



支援センター風：横須賀・三浦障害保健福祉圏域発達障害支援体制整備事業（神奈川県委託）

1. 事業

本年度より神奈川県から受託した事業です。昨年度までは KANAC の愛称で発達障害に係る相談支援、地域支援を実施しましたが、この事業は地域支援に特化した「地域支援マネジャー」を配置する事業です。KANAC において行ってきた個別相談は地域の支援機関に引き継ぎました。

業務内容としては①地域の関係機関からの支援依頼に応じたコンサルテーション②支援困難ケース等はかながわ A（神奈川県発達障害支援センター）との連携をコーディネート③圏域の発達障害に係る課題の抽出④検討機会の構築が同マネジャー等になります。

コンサルテーション業務	かながわ A 連携業務	地域巡回業務	関係諸会議への参加機会
47 回	15 回	25 回	17 回

2. 総括

神奈川県全域で本年度より開始した事業であるため、同事業受託機関とかながわ A との連絡調整を密に行いました。発達障害児者支援の課題は多岐にわたっているため、来年度は地域課題の集約と分析の機会を設け、かながわ A の協力を得て圏域内の事業所訪問、課題の収集を行う出張相談をはじめます。

支援センター風：逗子市地域活動支援センター（逗子市委託）

1. 事業

逗子市在住の各種障害者手帳保持者を対象として学習、作業活動等を提供する事業です。また制度の狭間事業として障害者手帳を所持していない方の受け入れも行います。

①男女人数 男性 11 名 女性 12 名

②年齢構成 19 歳～65 歳

③障害の状況

	人数		人数
知的障がい	13	精神障がい	4
身体障がい	3	その他	3
		合計	23

④入退所の状況

新規利用者 4 名

退所者 1 名

2. 総括

非常勤職員 2 名の退職に 2 名の入職と職員体制が不安定でした。現在は安定の兆しがあります。利用者においては年度前半で利用頻度の高い利用者の就労が決まりました。多くの利用者がこの事業を経て就労や他の安定した社会資源に繋がっていますが、長期にわたって利用している方もいます。他の社会資源には馴染みにくい方が利用できる、はざま事業の必要性は継続しています。

また、他の社会資源からのカムバック利用の方も見受けられ地域の受け皿機能としても重要です。職員への研修機会が他の事業に比べ少ないことから、次年度は障害に関する基礎的な研修の機会を設けます。

支援センター風：居宅介護支援事業（神奈川県指定）

1. 事業

自宅において日常生活を営むために必要なサービスを利用できるよう居宅サービス計画を公正中立の立場で作成する介護保険法に基づいた事業です。

①給付管理実績（ケアマネジャーは給付管理実績に基づき介護報酬を得ます）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
管理数	33	36	36	35	36	36	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
管理数	36	36	38	39	39	38	438

②その他

利用者の平均年齢は76.7歳、平均介護度は2.54でした。

障害福祉サービスを併用している方は18名でした。

2. 総括

約半数の方が障害福祉サービスを併用しており、介護保険法と障害者総合支援法双方の連携のもとケアマネジメントを進めました。コストダウンを目的に導入した支援ソフトは、法令に基づいた必要書式の整備や法改正への素早いアップロードの対応、給付管理請求業務の省力化にも寄与できています。障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行期、障がい者の家族の高齢化に対応できることが当事業所の強みであるため、障がい者の相談支援担当との情報交換を恒常的に行い、通年に渡る新規利用者確保に取り組むことで経営の安定を図ります。

支援センター風：各事業共通

1. 施設管理事業

各事業における事務の効率化の為、相談支援及び介護保険においてクラウドサービスを引き続き利用しました。

2. 施設整備事業

大きな修繕、設備の導入はありませんでした。平成28年度内に検討していた mai! えるしいへの移転事業は、改修仕様の作成および見積もり依頼に留まり、事業実施は平成29年度に行うこととなりました。

3. 研修事業

実施日	内容	参加者
6/4～	発達障害支援技術習得研修（全6回）	小林・菊池
6/16～1/27	基幹相談支援センター主催相談支援研修会①～⑥	
7/4～8/17	介護支援専門員専門研修Ⅰ（全7回）	菊池
7/27～29	発達障害者地域支援マネジャー研修（基礎研修）	小林
8/3	鎌倉保健福祉事務所保健衛生研修	大野
9/30、10/20	逗子市介護保険課基幹型包括支援センター主催 アセスメント力向上研修	染谷・稲木節
10/1	障害福祉サービス地域ネットワーク強化事業研修会議	稲木節
10/7	鎌倉保健福祉事務所精神保健福祉セミナー	稲木節

10/5～10/7	発達障害者地域支援マネジャー研修（応用研修）	小林
10/18～10/19	相談支援・就業支援セミナー	菊池・萩原
11/19～11/20	社会福祉士実習指導者講習	小林・松倉・萩原
11/22～12/22	介護支援専門員専門研修Ⅱ（全8回）	菊池
11/29、2/8、9	サービス管理責任者研修（地域生活）	三留
12/5	養育支援講演会	酒井
12/8	障害者の権利擁護研修会	菊池
12/11	日本発達障害支援システム会議	小林・菊池
1/23	ケアマネジメント適正化研修	染谷・稲木節
2/2	障害者虐待防止研修	大野・永井・稲木
3/7	地域移行定着支援研修	萩原
3/14	精神保健福祉講演会	菊池

#### 4. 防災事業

##### ①訓練

地震避難訓練を1回、火災を想定した避難訓練を1回実施しました。

自家発電機の稼働訓練を地震避難訓練に合わせ行いました。

##### ②備品

機器の定期点検を行い、防災用品リストの更新、保存食の入替を行いました。

グループホームジャストサイズ（共同生活援助）

1. 支援事業

- ①男女人数 男性 20 名 女性 11 名
- ②年齢構成 27 歳～60 歳（平均年齢 43 歳）
- ③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	0	10	4	7	10	31

④障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	21	重複障がい（知的、精神）	1
重複障がい（知的、身体）	8	重複障がい（知的、身体、精神）	1
		合計	31

⑤入退所の状況

新規利用者 1 名

⑥支援の内容

非常勤職員の採用が思うように伸びなかったことから、常勤職員が宿泊勤務中心の状況から脱することができず、定期的に巡回する体制作りには着手できませんでした。宿泊勤務者は各住居専任で勤務に就けるようになりました。

2. 施設管理事業

平成 29 年 3 月に避難訓練を実施しました。

3. 施設整備事業

平成 29 年 3 月にジャストサイズ堀内第 1 及び第 2 が完成しました。また平成 28 年 10 月にジャストサイズ小坪の代替地を逗子市小坪 5 丁目に取得しました。

4. 研修事業

各住居の会議が不定期開催となりました。その会議で支援に関する検討等を実施する予定でしたが、十分な成果が得られませんでした。

実施日	内 容	参加者
7/21. 22	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	梶ヶ谷・廣武
8/2	障害者総合支援法の基礎とグループホーム制度の理解	笹井
8/24	精神障害の理解と障害者グループホームにおける支援の実践	廣武
9/14	知的障害や自閉症の障害特性の理解とグループホームにおける支援のポイント	三留・廣武
9/27	障害者差別解消法の理解とグループホームにおける実践	梶ヶ谷・鈴木(真)
10/13	障害者グループホームにおける防災対策	三留
10/28	障害者総合支援法の基礎とグループホーム制度の理解	植草
11/2. 3	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	笹井・鈴木(真)
11/25	人材確保と職員育成～障害者グループホームの現状と課題	鈴木(創)
11/29、2/1、2	サービス管理責任者研修（地域生活）	三留
12/15	感情労働としての対人援助職～グループホーム職員のメンタルヘルス～	梶ヶ谷
1/20	障害者グループホームにおける虐待防止～グレーゾーンっていうけれど～	鈴木(真)

## 5. 防災事業

- ①訓練 平成 29 年 3 月に避難訓練を実施しました。
- ②備品 既存の住居について保存水の入れ替えを行い、平成 29 年 4 月の住居増にむけて、物品の補充を行いました。

## 6. 総括

平成 29 年 4 月のジャストサイズ堀内第 1・第 2 及び新池子の開設（同時に桜山の廃止）を念頭に置いた 1 年間でした。これにより住居数も 6 棟から 7 棟になることから、職員募集にも力を注ぎました。この 1 年で新たに非常勤職員が 5 名増えましたが、常勤職員が定期的に各住居を巡回するという状況には至りませんでした。今後、平成 30 年 4 月の 1 住居追加に向けて、更に非常勤職員の増員とともに常勤職員の仕事の在り方について検討し確実な体制作りを目指します。

消防法改正による消防用設備を完備した住居へのリニューアルについて、ジャストサイズ小坪の代替地が逗子市小坪 5 丁目に取得することができました。平成 29 年度中の完成を目指し準備を進めていきます。

前年度から始めている非常勤職員の育成について、各住居で行う会議で支援について継続的に取り組む計画でした。しかし、実際にはそこまで掘り下げることができませんでした。これからのサービス提供を考え、経験年数だけに頼らず、障がいに対する正しい理解をもって支援を行うための土台作りとして、支援向上委員会が取りまとめた「支援の手引き」を利用し職員育成を進めていきます。

ジャストサイズ桜山／ジャストサイズ一色（短期入所）

1. 支援事業

ジャストサイズ桜山

- ①男女人数 男性 12 名 女性 0 名
- ②年齢構成 19 歳～49 歳（平均年齢 36 歳）
- ③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	0	1	2	4	5	12

ジャストサイズ一色

- ①男女人数 男性 2 名 女性 9 名
- ②年齢構成 25 歳～50 歳（平均年齢 35 歳）
- ③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	0	3	3	2	3	11

2. 総括

平成 28 年度は、原則桜山を男性、一色を女性の利用枠としました。定期的な利用も増え、ジャストサイズ桜山について平日は概ね利用していただける状況、ジャストサイズ一色については平日は概ね 80%利用していただける状況となっています。利用率の高まりとともに、緊急時の利用調整はより困難になってきていることから平成 29 年度（及び平成 30 年度）に（各々）1 名の定員増を行います。

## 委員会

### 虐待防止委員会（委員長：八重樫譲）

委員自身が職員として成長し、職員それぞれが同じ方向で支援できるよう法人理念・行動指針のキーワード（利用者の尊厳、自立、職業倫理等）の読み解きや、車イスでのリフト車乗車体験といった当事者体験を行いました。

また、法人全職員を対象に和泉短期大学教授の鈴木敏彦氏を講師に迎え、「障害者差別解消法」についての研修を実施しました。

### 支援向上委員会（委員長：竹下洋久）

各事業所内で生ずる漠然とした課題や問題に対して、どこに要因があり、どのような方法で、またどの場面に介入すると改善ができるのかという「問題（課題）整理の方法」を繰り返し行ってきました。その結果、回を重ねる度に課題点等を端的に整理され、具体的な支援方法を導くことができるようになりました。

### 安全衛生委員会（委員長：萩原崇至）

「感染症対策部会」と「労働安全衛生部会」の二部会制をとり課題別に取り組みました。

感染症対策部会では平成 27 年度に作成した感染症ハンドブックの内容の確認と修正を行い、感染症ハンドブックを改訂しました。

また感染症情報の共有と感染症予防の啓発として、利用者・職員の感染症の罹患情報について毎月集約し、各管理者へ情報を提供しました。

労働安全衛生部会では各事業所において 5S 活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の定着を目指し、委員が各事業所を訪問し、課題を集約し改善指示を行いました。改善状況については改善報告書にまとめました。

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 看護部 摂食嚥下障害看護認定看護師である野口美紀氏を講師に迎え、法人全職員を対象とした嚥下に関する研修を開催しました。

### コンプライアンス委員会（委員長：大井みのる）

前年度の振り返りにより具体的な行動が出来るよう目標設定を行いました。コンプライアンス意識を醸成するため、職員一人ひとりの行動から意識を変える、その礎として「職員行動強化月間」を導入しました。日々の業務に反映され、職員が指摘し合える職場づくりを目的としました。

また前年度に引き続き公益社団法人かながわ福祉サービス振興会理事長である瀬戸恒彦氏を講師に迎え常勤職員を対象とした研修を実施しました。

各委員からは疑問や意見も多く出るようになり、その根拠を確認するといった行動に繋がっています。今後は全職員がコンプライアンス意識を高め、行動できるよう取組みを継続していきます。

湘南の風感謝デイ実行委員会（委員長：岡本 健）

1. 日 時

平成 28 年 10 月 8 日（土）10 時～14 時

2. 場 所

湘南の風もやい全館、もやい駐車場、小坪区会天王浜駐車場

3. 利用者等動員状況

	利用者	職員	家族会	ボランティア	合計
計	50	83	16	27	176

※上記ボランティアについては個人、車イスの会、逗子開成中学、逗子市民生委員・児童委員協議会、逗子市社会福祉協議会ボランティアセンターの協力によるもの。

4. 共 催

社会福祉法人湘南の風 後援会

5. 後 援

逗子市社会福祉協議会、葉山町社会福祉協議会

6. 協 力

逗子市、葉山町、小坪区会 小坪商栄会、西町祭礼委員会、リビエラ逗子マリーナ、逗子市消防署、逗子市手をつなぐ育成会、葉山町手をつなぐ育成会、逗子開成高等学校、もやい家族会、えいむ家族会 はばたき家族会、日本栄養給食、お祭り委員会（もやい、えいむ、はばたき、mai えるしい、各事業所の利用者）

7. 来場者数

600 名（推定）